



重雄 議員
渡辺 議員
自立と協働のまちづくり
具体的な進め方は

まちづくり
プロジェクトは

質問

「自立と協働のまちづくり」を各計画で強調されているが、今までの実績、今後の予定について伺う。

また、協働のまちづくり推進のため、環境美化活動を地域住民などで担うアダプトシステムの導入について伺う。

市長答弁

新市建設計画の理念を基に地域住民が自主的・主体的に取り組む活動に対し、支援を



孝 議員
新保 議員
健康いといがわ21計画
の取り組みは

質問

健康づくりの推進は

健康いといがわ21に基づく健康づくりの推進を図る推進員等の養成、楽しいシンボル事業の現状を伺う。
また、多面的な連携の必要

性や地域ぐるみの取り組みの強化を伺う。

市長答弁

運動推進員などは随時養成中で、養成後も定期的なフォローアップ研修を実施している。
食生活分野では、食生活改

行うという基本姿勢で取り組んでおり、今後もこの基本姿勢により推進する。

アダプトシステム導入は、現在でも住民や企業・団体等から公共施設の美化などを担っていただいております。今後も地元の皆様と、協働の観点で推進していく。



善推進員養成講座を開催し、受講修了者が食生活改善推進員となっている。

シンボル事業は、「わかめを食べよう運動」を実施中である。

地区運動教室では地域と、食育では農林漁業関係団体などの連携を図り、今後も積極的に連携し取り組んでいく。

なお、これまでの成果については、今年度、アンケートを実施しており、この分析により成果を検証し、今後の計画見直しに反映させていきたい。

総合計画の後期計画策定の基本的な考え方は

質問

前期計画における新市建設計画など各種個別計画との整合性や成果などの検証、また、前期計画の途中での中期プランの位置づけ、後期計画策定の手法、基本姿勢を伺う。

市長答弁

各種計画は、最上位計画である総合計画を踏まえながら計画を策定し、整合性を図っている。

また、成果等の検証は、各種基礎データの課題分析により行っており、後期基本計画策定に反映したい。

中期プランは、前期基本計画策定後の新たな行政課題に対応するため、前期計画と後期計画をつなぐ計画として策定したものである。

後期計画策定の基本的な考え方と手法は、市民アンケート調査等で、前期基本計画などの各施策の満足度や重要度について把握し、その結果を踏まえた計画づくりに努めることとし、市民との協働の手法を取り入れていく。

高齢者世帯の除雪、雪踏み
雪踏み支援事業は

質問

高齢者世帯の除雪、雪踏み支援事業の利用実績、対象世帯及び認定基準、支援額、要望を伺う。

市長答弁

平成21年度の利用実績は、屋根雪除雪が154人、延べ432回の実施、雪踏みは152人、延べ1969回である。対象世帯は、65歳以上の高齢者のみ世帯などの要介護世帯のうち、

支援が受けられない世帯について、地区民生委員の意見を聞いた上で認定している。

支援額は、屋根雪除雪は1回当たり1万2千円を上限とし、山間部は5回まで、平野部は2回までであり、雪踏みは30分で300円を上限とし、山間部は90分、平野部は45回までとなっている。

また、今年度は、対象世帯への追加認定や支援額増額などが、要望として出されている。

《その他質問項目》

・ごみ処理